

環境特集号

—ごみ減量・リサイクルの輪を広げよう！！—

第 29 号(平成 30 年 1 月発行)
豊能町建設環境部環境課
電 話:072-736-1190(直通)
F A X:072-738-3407
E-Mail: kankyou@town.toyono.osaka.jp

ごみ減量・資源化への取り組み

町では、毎年9月から11月を「ごみ減量化 PR 事業」期間と位置づけ、ごみ減量化推進員の皆様のご協力をいただきながら、今年度も啓発活動を行いました。

推進員の皆さんには、町内各店舗前や能勢電鉄の駅前、また「とよのまつり」会場において、啓発ティッシュの配布など、ごみの減量・資源化を呼びかけていただきました。

なお、町内各店舗前では食用廃油の臨時拠点回収もあわせて行い、計21リットルの廃油を回収しました。

上記の活動については、町内各店舗や能勢電鉄株式会社の皆様のご協力をいただき、実施しました。ありがとうございました。

今後もさまざまな啓発活動に対し、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



第7回とよのまつい

～ 11月12日(日)開催 ～

環境課も出展しました!!



水しぼり体験コーナー

環境課の出展ブース内に「水しぼり体験コーナー」を設け、生ごみから水分をしぼり出すことによってごみの量を大きく減らせることを、多くの方に実感していただきました。



ごみの量は重さではかりませんが、水分をしっかりと切ることによってその重さが減り、ごみの減量になります。

少しずつの減量をみんなが行っていけば、大きな減量につながります。皆さんの、さらなるひとしぼりのご協力をお願いします。

使用済小型家電の臨時回収

使用済小型家電の臨時回収をあわせて実施しました。皆さんからお持ちいただいた使用済小型家電は、おかげさまで約40kgになりました。ご協力いただきありがとうございました。

この使用済小型家電回収ボックスは、役場本庁・吉川支所・中央公民館・西公民館の4か所に常設していますので引き続き、回収にご協力をお願いします。

ボックスへ投入できるのは、各施設の開庁（開館）時間中となります。

なお、町では「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加しており、回収した使用済小型家電は、2020年東京オリンピック・パラリンピックで使われるメダルの一部へと生まれ変わります。



まちぐるみで ごみをへらすためのスローガン（合言葉）
「**ごみ減量 みんなが さらなる ひとしぼり**（30g、大さじ2杯分）」

スローガンのように、ひとりにつき1日30gの水分をしぼったとの仮定で計算してみると・・・

$30\text{g} \times 20,045\text{人（平成29年11月末現在の人口）} \times 365\text{日}$
＝ 約219,492kg（約219t）

みんなで水分をしぼると、1年間で **約219t** 分のごみの減量ができます。

◆経費試算（平成28年度国崎クリーンセンターの処理経費）

1tあたりにかかっている処理経費は、約2万4千円です。

→ 219t × 2万4千円で、**約525万円** の処理経費の削減となります。

とよのまついを
終えて・・・

水しぼり体験および使用済小型家電の回収に、多くの方々にお越しいただき、環境課ブースはたいへんにぎわいました。

ご来場、本当にありがとうございました！

今後も多くの方に、ごみの減量やリサイクルについて取り組んでいただけるよう、さまざまな活動を行ってまいります。

ごみ分別辞典をご利用ください

町ホームページにおいて、「ごみ分別辞典」の運用をはじめとしています。パソコンやスマートフォンから品名を入力し、**検索**をクリックしていただくだけで、分別の仕方などがわかりやすく表示されます。

ごみの分別や出し方の参考に、どうぞお使いください。



←こちらのQRコードからも、「ごみ分別辞典」へアクセスできます。

第2次豊能町ごみ処理基本計画の検証（中間報告）

計画開始から半年が経過しましたので、上半期（半年間）の検証として下記のとおり中間報告をします。

豊能町では、平成29年度3月に策定した【第2次豊能町ごみ処理基本計画】のごみの減量と資源化について、下記の2つの目標を掲げています。

減量と資源化の目標＜2つの目標＞

平成29年度を計画の初年度とし、15年後の平成43年度を目標年度とする

1. 減量目標・・・1人1日あたりのごみ排出量（家庭+事業）を **750g** 以下に減量する
2. 資源化目標・・・生活系ごみ（家庭系ごみと集団回収、店頭回収）の **50%**以上の資源化をめざす

最終年度の目標値に向けた、平成29年度の目標値は、

- ① 減量目標として1人1日当たりごみ排出量 **776g**
- ② 資源化目標として生活系ごみの資源化率 **35.8%** というものです。

平成29年度上半期（4月～9月）のごみ量をもとに算出してみると、下記のとおりとなりました。

① 減量目標

平成29年度上半期のごみ量（4月～9月）	
ごみ排出量（家庭+事業）	3,090 t
9月末人口	20,135 人
日数	183 日
H29年度目標（A）	776 g
1人1日あたり ごみ排出量（B）	839 g
（B） - （A）	63 g
目標達成結果	×

② 減量目標

平成29年度上半期資源化率（4月～9月）	
生活系ごみ量（家庭+ 集団回収+店頭回収）	2,939 t
資源化量	933 t
H29年度目標（A）	35.8 %
資源化率（B）	31.7 %
（B） - （A）	-4.1
目標達成結果	×

上記の①減量目標、②資源化目標の表を見てみると、目標値には届いていない状況です。

今後、目標達成のため、さらなる減量と資源化に取り組んでいただけるよう広報・啓発に努めていきたいと考えています。

減量・資源化には、町民の皆さんのご協力なしには成しえないことです。皆さんのさらなるご協力をお願いします。

